

大学院大学至善館 イノベーション経営学術院則

2021年5月29日制定

(趣旨)

第1条 大学院大学至善館イノベーション経営学術院則は、大学院大学至善館のイノベーション経営学術院（以下、「本学術院」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(学術院の教育研究上の目的と基本方針)

第2条 (学術院の教育研究上の目的) 本学術院は、全人格経営リーダーシップに関する研究を行うとともに、全人格経営リーダー人材を育成・輩出する。全人格経営リーダーとは、創造力と起業家精神にあふれ、全体俯瞰的・包括的な視座から事業を構想し、組織を経営するスキルを持ち、事業の創造と変革を牽引すると同時に、社会の一員としての自覚と責務感を有する全人格的な経営人材であり、事業の創造と変革にあたっては社会との共生を絶えず視野に入れ、未来への責任を果たそうと努める人材である。

第2条の2 (学位授与の方針) 本学術院は、独自のカリキュラムを修了し、次世代のリーダーに必要な能力である、事業活動や組織、さらには経営を包括的に見渡す視座を持ち、起業家精神と柔軟な発想で、事業の創造と変革をリードする力を身につけた人材に、「経営修士〔専門職〕：Master of Business Administration in Design and Societal Innovation」の学位を授与する。本学が育成を目指す全人格経営リーダーに求められる能力・資質を、より具体的に定義したものを、以下の4つのコンピテンシーとして以下の各号に定める。

(1) 個人としての意志力

自分は何者で、何をするために生を受けたのかという問いを通じて、使命感を身につけ、人生ビジョンを持って行動し、同時に、人としての成長を継続する力。

(2) 経営人材としての構想力

高い視座と長期的な視点を持ち、物事の本質を追求しながら、時代の変化と環境の変容を先取りし、過去や慣習にとらわれることなく、経営者・起業家視点で、新しい事業・組織・経営のあり方を構想する力。

(3) リーダーとしての実現力

構想の実現に向けて率先垂範で行動し、人々と真摯に向き合い、共感と信頼を得て、組織と社会に波紋を広げながら、創造と変革を牽引する力。

(4) 全人格な基軸力

歴史観・世界観・人間観に裏づけられた確固たる信条・理念・哲学と、社会の一員であるとの自覚・責務感を併せ持ち、自ら確立する基軸を拠り所とし

て、ぶれずに判断し行動する力。

第2条の3 (教育課程編成・実施の方針) 本学術院は、次の各号に定める教育課程編成・実施の方針を定める。

- (1) 独自のリベラルアーツ教育を通じて、世界観・歴史観・人間観を醸成し、個々の信条、理念、哲学となる「全人格な基軸力」を涵養するとともに、過去の潮流と現在の課題を理解し、未来の予兆を感じ取る洞察力を伸ばす。
- (2) 経営人材としての全体俯瞰的・包括的視座を養うため、企業活動を諸機能ごとに細分化して学ぶのではなく、経営全体のプロセスの中での必要性を絶えず意識しながら、知識・スキル・思考法の習得を目指す。と同時に、管理者育成の教育パラダイムからの脱却を図るために、デザインスクールやイノベーションスクールのエッセンスを取り入れ、未来に求められる新たな事業像・経営像・経済社会像を構想でき、イノベーションを起こしていくための柔軟な思考力と感度を獲得できるようにする。
- (3) 至善館の教育の目的は、学生が習得したスキルや知識を実践の場で活用することにある。そこでは、「リーダーとしての実現力」が何よりも求められる。構想の実現にあたっては、周囲の共感と信頼を得て、人と組織に波紋を広げていくことが求められるが、至善館のプログラムでは、そうした行動の源泉となる人間的な魅力・度量・器を培うため、人と向き合い、人と協働し、人を動かすうえでの自身の行動特性や、リーダーとしての強み・弱みを知るためのアセスメント、他者からの観察とフィードバック、チームによる協働作業の場での、自身の行動や貢献に関する自己診断やメンバーからのフィードバックなどを、プログラムに積極的に織り込む。
- (4) リーダーシップは、思い、志、情熱がなければ十分に発揮できないことはいうまでもない。他者からの命令や周囲から評価されるという外的な動機づけだけでは、不確実性やリスクと対峙し、時に逆境に耐えて挑戦を続けることはできない。残念ながら、思い、志、情熱という内発的なドライバーは、知識の修得で身につくものではない。自分は何者なのか。何をするために生を受けているのか。自分が人生を通じて成し遂げたいことは何か、といった一連の問いを繰り返し自分に投げかける中で、所属や肩書による制約から解放された「個人としての意志力」として、より明確となるものである。こうした認識から、至善館のプログラムでは、心理学やコーチングの手法を積極的に取り入れ、内省、自己との対話を促すワークショップを繰り返し実施する。

第2条の4 (入学者受入れの方針) 本学術院は、入学者の受け入れにあたっては、次の3つの要素を重視する。選抜審査にあたっては、これらの要素について入学者が持つ潜在性（ポテンシャル）を総合的に勘案する。

- (1) 自分自身の手で人生を切り拓こうとする姿勢
所属（あるいは自身が経営）する組織において、自らイニシアティブをとっ

て人やチームに影響力を発揮し、変化を創りだすリーダーシップを発揮した経験を持っていること。また、これまでの人生経験を通して形成されてきた“自分”という存在について、自分なりの認識をもっていること。また、本学の教育課程の受講を通じて、自らを磨き、単なる機能別スペシャリストではなく、経営・起業を担う人材をめざす意欲を持っていること。

(2) 知的な吸収能力と本質的な思考力

本学の教育課程を咀嚼し吸収するうえで必要となる、基礎学力、知的能力、知的好奇心、物事の本質を探究しようとする姿勢を有していること。その上で、事象の表層を安易に受け入れることなく、根底にある複雑な要因を構造化し、あるいは対峙するにあたっての自身の仮説を論理的に推論しながら形成し、建設的な議論ができる能力を有していること。

(3) 人、組織、社会/世界への深い問題意識と、他者への貢献意欲

世界の情勢や社会を取り巻く状況に関心を持ち、時代の潮流や行く末に対して、問題意識を持っていること。また、自身が所属・経営する組織の課題と挑戦について、自分なりの考えをもっていること。そして、人間という存在や、人間の営みが創りだす組織活動やコミュニティ、社会に対して、理想主義にも悲観主義にも陥ることなく、また、表面的な理解にとどまることなく、現実と向き合い深く考察する姿勢を持っていること。何よりも、こうしたリアリティを伴う深い問題意識を、自分自身の中にとどめず積極的に他者と共有し、相互触発や切磋琢磨のなかで互いの学びと人間成長に繋げてゆく意欲を持っていること。

(教育課程)

- 第3条 本学術院の経営修士（専門職）課程イノベーション経営専攻の授業科目、単位数は別表1の通りとし、履修方法等に関する事項は、別に定める。
- 2 前項について、学生が1年間に履修登録することができる単位数の上限は、1年次、2年次ともに35単位とする。

(措置退学)

- 第4条 本学術院の経営修士課程（専門職）課程の1年次終了時点で、一年次配当科目（自由科目を除く）のうち、四分の一以上の科目において、FあるいはIの評価を受けたものは、退学とする。
- 2 前項について、教授会が正当な理由があると認める場合には、退学を免除できるものとする。

(修了要件)

- 第5条 本学術院の経営修士課程（専門職）課程の修了要件は、所定の科目において46単位以上を修得することとする。

(学位の授与)

第6条 経営修士課程（専門職）課程を修了した者には経営修士（専門職）の学位を授与する。

（学術院則の変更）

第7条 この学術院則の改廃は、本学術院の教授会の議を経て、学術院長が行う。

附則

1. この学術院則は、令和3年8月20日から施行する

附則（令和3年7月8日 教育課程の見直しにともなう一部変更）

1. 第3条の別表1「教育課程の一覧」を変更
2. 第4条の修了要件における修得単位数を41単位から44単位に変更
3. この学術院則の変更は、令和3年8月20日から施行する

附則（令和4年2月10日 履修登録可能単位数を追加）

1. 第3条に2項を追加
2. この学術院則の変更は、令和4年8月20日から施行する

附則（令和4年6月16日 教育課程の変更）

1. 第5条の経営修士課程（専門職）課程の修了要件の単位数44単位から46単位に変更
2. 第3条の別表1を変更
3. この学術院則の変更は、令和4年8月20日から施行する。

附則（令和5年1月5日 学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針の追加）

1. 第2条の2、第2条の3、第2条の4を追加
2. この学術院則の変更は、令和5年1月5日から施行する。

区分 Category		略称 Acronym	授業科目の名称 Course Title	年次 Year	単位数 Credits			授業形態 Session Form	
					必修 Compulsory	選択 Elective	自由 Option	講義 Lecture	演習 Exercise
イノベーション経営 基礎科目 Fundamentals in Innovation Management	世界・歴史・ 人間存在の理解 Understanding the World, History, and Human Existence	COMPANY	企業論—企業、市場そして社会— What is a Company for? - Exploring Relationships Among Business Enterprise, Market, and Society	1	2			○	
		CAPITALISM	近代哲学、資本主義、人間存在の未来 Modern Philosophy, Capitalism, and the Future of Human Existence	1	2			○	
		RELIGIONS	宗教から考察する社会構造と世界の多様性 Diversity of Social Structures and Ethics from the Perspectives of Major Religions	1	2				○
		SOCIOLOGY	社会システムと人間存在の未来 Social Systems Theory and the Future of Human Existence	1	1				○
		SCI-TECH	科学技術・イノベーションと人間存在の未来 Science, Technology, Innovation and the Future of Human Existence	1	1				○
		TOYO	東洋思想に見るリーダーシップ Eastern Philosophy and Leadership	1	1				○
		JAPAN	世界の中の日本—西洋と東洋の対話 Japan in the Wider World: An East-West Dialogue	1				1	○
	FIELD	フィールドスタディ Field Study	1				1	○	
	他者・社会との 対峙と自己の内省 Facing the Self and Others	PERSPECTIVE	世界と未来に対峙するリーダーの条件 Leadership Challenge: Opening our eyes to the globe and looking into the future	1	1				○
		GROUP I	世界の鳥瞰と価値観の超克 A Bird's Eye View of the World and Transcending Conflicts of Values	1	1				○
		GROUP II	世界を見るまなざし—パフォーマンスを通じて— Performing Arts—A Window to Rediscover the World	1	1				○
		CORE	自己との対峙と軸の確立 Discovering Your Core by Confronting Yourself	1	1				○
		CAREER	キャリア・デザイン Designing Your Career	1	1				○
		NUMBERS	財務分析評価と経営管理の根拠 Financial Analysis and Levers for Managerial Control	1	2				○
		FINANCE	市場の原理と企業金融の理論 Market Principles and Corporate Finance Theory	1	2				○
	事業を構想し 検証する力 Envisioning and Validating a Business Scheme	SYSTEMS	システム思考と持続可能性への挑戦 Systems Thinking and the Sustainability Challenge	1	2				○
		MARKETING	マーケティングの原理と実践 Marketing: Principles and Practices	1	2				○
		ENVISION	構想する力 Creative and Innovative Methods for Envisioning	1	1				○
		DESIGN	構想を具現化する力 Design Thinking and Project-Based Learning	1	2				○
		DECISION	リーダーとしての意思決定 Leadership and Decision Making	1	1				○
		STRATEGY	戦略手法と戦略思考 Strategic Management: Theories, Frameworks and Ways of Thinking	1	2				○
		AI	AI時代のデジタルリテラシー AI and Digital Literacy	1				1	○
	人と組織を動かす力 Mobilizing People and Organization	COMMUNICA TION	思いとビジョンを伝える技法 The Art of Communicating a Vision and Ideas	2	1				○
		OBHRM	人と組織のマネジメント Managing People and Organizations	2	2				○
GROUP III		人と向き合い人を動かすリーダーシップ Leadership: Confronting and Mobilizing People	2	1				○	
NEGOTIATION		リーダーシップと交渉学 Leadership and Negotiation	2		2			○	
イノベーション経営 発展科目群 Advanced Courses in Innovation Management	GLOBAL	グローバル戦略と経営 Global Management: Strategy, Organization and Leadership	2		2			○	
	TURNAROUN D	事業再生の経営 Managing Business Turnaround	2		1			○	
	DIGITAL	デジタルトランスフォーメーションとイノベーション Digital Transformation and Innovation	2		2			○	
	ENTREPRENE URSHIP	アントレプレナーシップと事業創造 Entrepreneurship and Business Start-up	2		2			○	
	INTRAPREN EURSHIP	企業のサステナビリティイノベーションとイントラプレナーシップ Corporate Sustainability Innovation and Intrapreneurship	2		2			○	
	PUBLIC	公共政策：枠組みと実践 Public Policy: Framework and Practice	2		2			○	
社会イノバ ション Public Policy and Social Innovation	SOCIAL	ソーシャルビジネスとインパクト Social Business and Social Impact	2		2			○	
	CITIES	都市とインフラの戦略経営 Strategic Management of Cities and Infrastructure	2		2			○	
	BP	経営政策の論理と実践 Business Policy: Concepts and Practices	2	2				○	
イノベーション経営 統合科目群 Integrative Courses in Innovation Management	PLAN	事業計画の作成とビジネスモデルの構築 Creating a Business Plan and Business Model	2	2				○	
	LEADERSHIP	リーダーシップの本質を掘り下げる Exploring the Essence of Leadership	2	1				○	
	LIFE	リーダーとしての生き方 Living Life as a Leader	2	2				○	
	FoC	資本主義の未来—ビジネスとリーダーの新たな役割と挑戦 The Future of Capitalism: New Roles and Responsibilities of Businesses and Leaders	2		2			○	
	YOGA	身体感覚と内省(ヨガと瞑想) Body, Senses and Self-Reflection: Yoga and Meditation	2			1		○	
	ZEN	リーダーに求められる心の在り方(坐禅と講話) Zen Meditation and Self-reflection	2			1		○	
演習科目 Individual Project	SEMINAR 1	個人演習1 Individual Project 1	2	2				○	
	SEMINAR 2	個人演習2 Individual Project 2	2	2				○	
合計 Total		42科目/Courses		43	19	5			
卒業必要単位数 Credits required for program completion			合計46単位(必修科目43単位、選択科目3単位以上) 45 Credits in total (43 Credits from compulsory courses, 3 Credits or more from Elective courses)						

注: 個人演習の履修は、個人演習を終了していることを条件とする。

Note: Completion of Individual Project 1 is required for registration for Individual Project 2.